

ITガバナンス

基本的な考え方

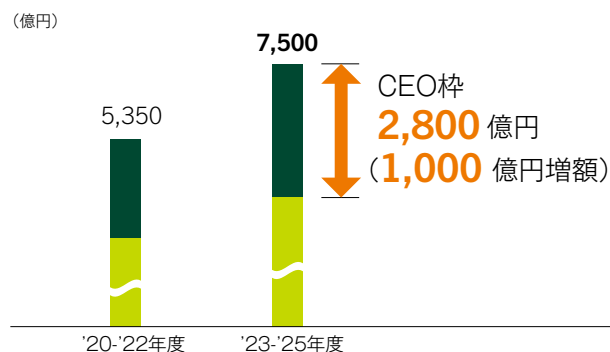
変わらない価値を守るためのレジリエンス強化と、新たな価値提供に付随する新たなリスクへの対応を進めます。人からシステムへの継続的なシフトと、それを支える開発体制の拡充およびシステムアーキテクチャの整備・統制をもって、社会的価値と経済的価値の双方を追求します。社会インフラを担うメガ金融グループとして安定性と柔軟性を両立し、デジタルを活用してビジネスを牽引します。

IT投資戦略

SMBCグループのさらなる成長と国内外におけるデジタル戦略加速のため、グループCEOが「経営上重要な分野」と判断したものに機動的に投資できるCEO枠を1,000億円増額し、2,800億円としました。

中期経営計画のIT投資総額は7,500億円として、デジタル化推進・内部統制強化やレジリエンス強化を含む経営基盤強化・事業戦略の実現といった戦略的な投資へ重点的に資源配分していきます。

積極的な投資によるITインフラ増強



システム安定稼働を支える レジリエンス強化の取組

デジタル化の進展に合わせ、内部・外部システム間での機能連携やサービスの拡大、お客さまの利便性向上に取り組んでいる一方、システム障害が発生した場合のお客さまへの影響も広範に波及する可能性をはらんでいます。そのため、システムの安定稼働を維持することの重要性はより一層増しており、システムリソースの増強やシステム障害の予兆検知、予防保守等のシステム障害の未然防止策に取り組むとともに、障害発生時の影響を極小化していくため、コンティンジェンシープランの継続的な改善や手動による障害対応のシステム化、障害訓練内容の高度化等、レジリエンスを強化していきます。

先進技術の活用と各国規制への着実な対応

デジタル技術はビジネスに不可欠であり、先進技術を効果的に幅広く活用しています。

たとえば、文章の意図を解釈し自然な言葉の文章を生成する技術である生成AIに早期から着目し、専用環境上でのみ動作する従業員専用AIアシスタントツール「SMBC-GAI」を開発しました。従業員が「SMBC-GAI」を活用することで文書作成や照会対応・企画資料作成等にかかる時間を削減するほか、画像認識、音声認識、システム開発高度化等の分野でも幅広く活用しています。

なお、AIのリスクをコントロールするため、AIの回答内容の正確性は従業員が判断する等のガイドラインを徹底するとともに、国内外の規制等の最新動向を踏まえ、海外拠点と連携し適切に対応しています。

また、データガバナンスの観点では新たにグループCDAO*を選任し、グループ・グローバルベースの体制を強化するとともに、データ管理手法の高度化およびITインフラの整備を進めています。

* Chief Data and Analytics Officer

社会課題解決への貢献と 新たな社会的価値の創造に向けた挑戦

グループのマテリアリティとして挙げている環境への取組として、SMBCグループ自身も2030年のGHG排出量ネットゼロに向けて取り組んでいます。SMBCグループの国内GHG排出量のうち、約4分の1を占めるのが電算センターであり、AIを活用した空調制御の最適化、太陽光発電設備の拡充等、既存センターの省エネに取り組むほか、計画中の次世代電算センターにおいてはさらなる省エネにより環境負荷を抑制していきます。

また、ITを活用した日本の再成長への貢献として、SMBCグループ内のデジタル・IT教育組織である、デジタルユニバーシティで企画・監修した社内向け研修コンテンツをお客さまに提供し、幅広いデジタル教育機会を創出しています。その他、社会的価値の創造に資する取組に機動的にIT資源を投入し、SMBCグループ全体でITを活用した社会課題解決に貢献していきます。